



Q1.なぜ大学院に進学したのですか？

理由は4つあります。

1つ目は、勉強をするのが大好きだったことです。入学当初から大学院入学は考えていましたが、看護学を学んでいくうちに看護学にとっても惹かれていることを実感しました。ただ、いろんな方面に好奇心であり、分野の選択には迷いました。

2つ目は、大学院に進学し専門性も高めたかったことと、それ以上に色々な場所に行き、色々な人と関わることや様々な体験を通して、視野を広げ柔軟な考えを身につけたかったことです。地域は、対象とするものが広いということ、院生の方も看護師、保健師、訪問看護をされている方、養護教諭の方、留学生とバラエティーに富んでいます。自分の考える院生生活をここでならできると感じ、地域の分野に進むことにしました。

3つ目は、根拠をもとにした考え方ができるようになりたいということです。大学4年間の中で多くのレポートを書き、記録もたくさん書いてきたにも関わらず、文章を書くということや自分の考えを話すということに関してとても苦手意識がありました。その原因として根拠のある考え方ができていないと自分で思っていました。自分の考え方に一貫性と説得力を持てるようにするためにもその訓練をしたいと思い、大学院での勉強を望みました。

最後、4つ目は、自分の道を“納得した上”で決めたかったという理由です。好奇心旺盛なこともあり、自分が何をしたいかはっきり分かっていませんでした。進学したいという想いが強かったのも原因ではありましたが、その後の職業選択までは大学4年の時点では決められませんでした。最後に挙げた理由の2つは、学部生から大学院への進学の形をとった理由でもあります。

Q2.大学院に実際進学してみてどうですか？

とても楽しく充実した日々を送っています。本当に今、自分らしく毎日を楽しみ過ごすことができていると胸をはって言えます！本当に進学して良かったです。研究をするうえでは学部で研究を一通りしているということもあり、学びや反省点を生かしながら進めることができます。課題なども自分の研究や学びに直結することばかりなので、自分に必ずフィードバックされます。一つ一つ課題を突破していく中で、人間としても成長していっているような気がします。

Q3.日中の生活は？

院生は研究室にこもりがちなんじゃないかという話を聞きますが…

いやいや、そんなことはありません(笑)フットワーク軽くいろんなところに行っております！

(笑) そんな疑問を解決すべくわたしの生活パターンふたつほど挙げさせていただきます。

一日の生活パターン①

8:00 起床

10:00～11:30 臨地マネジメント演習で地域に出向く

昼食

13:00～16:30 論文調べ&まとめ、図書館で文献探し

16:30～18:00 TA

夕食

19:00～21:00 ジムでトレーニング

本屋さん寄り道

帰宅後、家族と会話、映画見たり、読書したり、ストレッチしたり…ぼーっとしたり…

0:00 就寝

一日の生活パターン②

8:00 起床

10:00～12:00 課題や研究進め

昼食

13:00～15:00 臨地マネジメント演習

16:00～19:00 ス〇バで課題&研究進める

友人とご飯からの岩盤浴

…と、かなり自由にやっております。院生室には、自分のデスクもパソコンもあって、ありがたいことに冷蔵庫も電子レンジもエアコンも洗面所も完備されているので快適です。だからこそ自分のことに集中でき、作業もはかどります。でも、気分転換も必要なので、カフェや図書館、自宅で場所を変えて作業することもよくあります。本当に自分のすべきこと、したいことを自分のスタイルですることができているので研究室にこもるという感覚はないです。時間的には学部生の時よりも自由な時間があるので、自己管理さえしっかりできれば、自分の課題も研究も順調に進められるし、今しかできない勉強や経験を積むことができます。

Q4.収入源は??

ティーチングアシスタント (TA) をさせていただいております。学部生の授業補助です。バイト代をいただけるのですが、それ以上に自分の経験になります。自分が学部生の時に理解完全にしていなかったことを振り返り、知識の再確認をすることができ、他の人の考えを学ぶこともできるいい機会になります。将来的に大学教員になりたいと考えているということもあり、“教える”ということでも大変勉強になります。

同期で、あいている時間に病院に勤務して臨床経験を積んでいる友達もいるので、Q3でもお答えしましたが、時間をやりくりすれば自由にアルバイトもできます。

Q5.どんな授業を受けていますか？

前期は「看護学研究方法特論」と「地域・環境保健看護学特論」を受講しています。前者は、看護研究とはなんぞやというもので基礎から詳しく学びます。色んな分野の先生がかわるがわる授業担当をしてくださるので楽しいです。後者は地域分野の授業です。地域の先生がご自分の研究分野を中心に講義してくださり、学部の時と違って少人数（今は生徒私を含め3人ですね）なので、質問もしやすい環境で、ディスカッションも自由にできて、とっても楽しいです。どちらかというとなり方型ですね。

7月に入ると、集中講義の授業があって、外部の先生の講義を聞くことができとっても貴重な体験ができます。どんな授業か私もまだ受講していないのでわかりませんが、先輩方の話によると、とっても面白く、為になるとのことです。

Q6.卒業後はどうするのですか？

まだ決めていません…と4月当初の私なら言っていました。

でも、院に入り3ヶ月、自分の方向性が固まりつつあります。今考えているのは、修士2年を修了してから看護師として現場で働きたいと思っています。看護師を何年かして、その後保健師として働き、いずれ大学に戻り大学教員の道を歩めたらと思います。厳密に期間などは決めていません。その時その時の自分の状況に応じてベストだと自分が信じる道を歩んでいきたいと思っています。

このような決断ができたのも、この地域分野に進学したからこそであるといえます。様々なお仕事をされている先輩方の話を聞くことができ、現場の声を聴くことができていること、地域の活動に参加させていただくことで、地域の住民さんたちと関わり、視野を広げることができていること、また、課題や研究、TAなどを経験する中で、一步一步ではありますが、自分の成長を感じ、自信もついてきていると感じることができていること、大学院に進学し、自分とじっくり向き合い、ありのままの自分に出会えたからこそ、自分の将来も明確になってきたと思います。

看護学専攻は職業選択をする上でさまざまな選択をすることができる分野です。大学院進学という選択を視野に入れてみるだけでも、自分の大切な将来をより充実した楽しいものにすることにおいてとても意味のあることであると思います。